

ハーモニー広場

2012 vol.60

男女共同参画社会を目指して



女性が積極的に活躍できる環境づくりに取り組んでいる株式会社常陽銀行
記事は6ページ



つくばりんりんロードにサイクリストのためのピットを開設した有野真由美さん。
記事は4ページ

男女共同参画フォーラム in いばらき
「ハーモニー功労賞」受賞者紹介

男女共同参画 推進月間特集

P2 P3

それぞれの男女共同参画 チャレンジ ストーリー



P7 推進員活動通信 | 鷗田 礼子さん 山本 伸子さん



高齢者の方に昼食を提供したり、様々なイベントを実施している稲穂の会の皆さん。
記事は5ページ

個人の取り組み紹介
つくばりんりんロードにピットを開設
有野 真由美さん
団体の取り組み紹介
常に笑い常になしく食事を
稲穂の会
企業の取り組み紹介
「くるみん」認定の子育てサポート企業
株式会社常陽銀行

P6 P5 P4

P8 ハーモニーフライト2011
情報広場

男女共同参画推進月間特集

「男女共同参画フォーラムいばらき」

11月は「男女共同参画推進月間」です。月間中に行われた行事等をご紹介します。



ハーモニー功労賞受賞者の皆さん

県では、昨年11月25日(金)水戸市内において、内閣府と共催で「男女共同参画フォーラムいばらき」を開催しました。

武川内閣府男女共同参画局大臣官房審議官及び山口

茨城県副知事の主催者あいさつ、飯塚茨城県議会副議長の来賓あいさつに続き、男女共同参画の推進に功績のあった個人・団体・事業所を表彰する「ハーモニー功労賞表彰式」が行われました。

また、武川審議官から「内閣府からの報告」が行われ、第3次男女共同参画基本計画に基づく国の取り組みや震災への対応等について説明がありました。

講演は、実践女子大学人間社会学部教授の鹿嶋敬さんより、「どう進める、ポジティブ・アクション」雇用の分野を中心に「」のテーマで行われ、企業の事例を交えながら、第3次男女共同参画基本計画に基づく実効的な推進方法や非正規雇用問題などについてご講演いただきました。

パネルディスカッションは、常磐大学コミュニケーション学部地域政策学科長の林寛一さんのコーディネートのもと、北茨城市副市長の石田奈緒子さん、大洗町漁業協同組合女性部部长の高橋早苗さん、(有)モータース代表取締役の光畑由佳さん、NPO法人イコールネット仙台代表理事の宗片恵美子さんにより、「男女共同参画の視点からの震災復興と新たな地域づくり」のテーマで行われました。東日本大震災における女性の立場からの活動など活発な意見交換が行われ、震災からの復旧・復興及びこれからの地域づくりには、女性の視点や男女共同参画推進が重要であることを改めて認識しました。



武川内閣府男女共同参画局大臣官房審議官
あいさつ



山口茨城県副知事
あいさつ



パネルディスカッションの様子

※なお、県女性青少年課ホームページに内容の詳細を「報告書」として掲載しておりますので、是非ご覧ください。

http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/bugai/josei/danjo/seminar_ibaraki.html



「ハーモニー功労賞」受賞者の皆さん

男女共同参画の推進に功績のあった個人・団体・事業所の方々に「ハーモニー功労賞」が贈られました。



山崎 美穂さん
(坂東市)

お米マイスター、オーガニック検査員などの資格を取得し、有機農法により安全・安心な米の生産及び販売を行いながら、小学生を対象とした食育活動も行っている。また、友人の女性社氏と協力し、純米吟醸酒「美穂久仁」を共同開発した。

受賞者のコメント

- 受賞できてうれしく思います。農業を様々な角度から展開しているのですが、国内だけでなく、将来的には海外に向けたお米の輸出や日本のお米文化の普及をしたいと思っています。



小松崎 登美子さん
(筑西市)

地域住民の集いの場である「たまり場たろう」を主宰し、イベントの開催や研修の実施を通じて、地域コミュニティの再生に貢献している。また、「茨城のたまり場ネット」を設立し、県内におけるたまり場活動の促進に尽力している。

受賞者のコメント

- 個人の部で受賞しましたが、たまり場の仲間、家族みんなでいただいた気持ちです。県内のたまり場がネットワークでつながる活動を展開中なので、多くの皆様にご協力をいただけたらと思います。



京川 舞さん
(小美玉市)

AFCサッカーU-16女子選手権大会得点王やFIFA U-17女子ワールドカップ準優勝メンバー、更にU-19女子国際トーナメントでは日本女子代表優勝メンバーとして活躍するなど、女性の参加が少ないサッカーの分野において活躍している。

受賞者のコメント

- 家族や応援してくれる皆さんに感謝しています。今後の目標はU-20ワールドカップに出場し優勝することオリンピック出場です。来春からなでしこリーグのINAC神戸レオネッサに加入するので、まずはレギュラー入りをめざします。



結城紬・織り子店
rico
(筑西市)
代表 外山 憂有子さん

結城紬の小物製品の企画・製作・販売を行い、また、着付け教室やワークショップなどの開催や地域情報の配信など、まちおこしにも尽力している。これまで「表」に出ることのなかった織り子が、企画・製作・販売までを行うことにより、女性の地位向上や職場環境づくりに結びついている。

受賞者のコメント

- このような賞をいただけて、とてもうれしく思っています。今後も織り子3人で、結城紬の伝統と素晴らしさを知る入口としての活動を続けていきたいと思います。



取手市商工会女性部
(取手市)
部長 田中 園子さん

「つるし飾り」の制作講習会・市内での展示を通し、商店街の活性化のために活動している。その活動が発展し、今日では、「取手宿ひなまつり」として、取手市・取手市商工会・地元企業・JR・アート関係者などと協働して行う大きなイベントとなり、さらなる街の活性化につながっている。

受賞者のコメント

- この度は、「つるし飾り」の活動により賞がいただけてとても感激しています。今後も会員、地元の企業、学生さんたちと力を合わせて、活性化に取り組んでいきます。



笠間クラインガルテン
「楽農工房」
(笠間市)
代表 鈴木 かつ子さん

地元産の材料を使ったジャムの加工販売、ジャム作り体験や給食への食材提供による食育活動、イベント開催による都市住民との交流、地域農産物の普及のため菓子店等への素材の供給を行うなど、地域農産物への理解促進に取り組んでいる。

受賞者のコメント

- 今回の受賞は会員全員の成果であり、地域の生産者・JA・市の皆さんの支えに感謝しています。今後も安心安全をテーマに、地域の農産物の普及に貢献していきたいと思います。



香陵住販株式会社
(水戸市)
駅南支店支店長
後藤 倫子さん

子育て支援や長時間労働の抑制など、社員のワーク・ライフ・バランスに配慮した制度の充実に取り組んでいる。また、育児休業者に対する定期的な情報提供と職場復帰のための研修制度を設けるほか、男性社員の育児休業の取得促進にも積極的に取り組んでいる。

受賞者のコメント

- 賞をいただいたことをうれしく思います。男性社員が7割を占める当社では、女性を積極的に登用しております。今後も女性の意見を聞きながらバックアップ体制をさらに充実させてまいります。(経営統括本部長 中野さん)



キャノンモールド株式会社
(笠間市)
取締役 渡邊 健二さん

人事評価制度に基づく公正な人事評価などの男女の格差解消のための取り組みや、セクハラ・パワハラについての相談窓口設置などの働きやすい職場づくり、マイ・バランス休暇制度や育児休業制度、マタニティー休業制度などのワーク・ライフ・バランスの取り組みを行っている。

受賞者のコメント

- 当社は、早期から女性社員のための環境整備に力を入れてきました。今後もワーク・ライフ・バランスを重視しながら、人と人のハーモニーを大切に男女共同参画に取り組んでまいります。



株式会社カスミ
(つくば市)
人事総務部労務・給与担当マネージャー
染谷 忠彦さん

「女性かがやき委員会」を発足し、女性社員を含めた育成セミナーを開催している。また、育児や介護の理由で退職した社員が、再び退職時の雇用区分にて復帰できる「キャリアライセンス制度」を設置した。その他、男性の育児休暇や育児休業制度などを導入している。

受賞者のコメント

- 取り組みを評価していただき、光栄に思います。当社は女性従業員が多く活躍しておりますので、今後も働きやすい環境づくり等を推進し、男女共同参画のハーモニーがより響くよう取り組んでまいります。

個人の部

団体の部

事業所の部

男女共同参画推進月間とは

県では、職場や地域、家庭などにおける男女共同参画への関心と理解を深め、様々な活動が積極的に行われるよう、県男女共同参画推進条例に基づき、毎年11月を男女共同参画推進月間と定めています。

① 個人の取り組み

つくばりんりんロードにピットを開設

有野 真由美[ありのまゆみ]さん



▲食事・休憩など「ひとやすみ」と自転車のメンテナンスができるピットストップ。土日・祝日の営業。



つくばりんりんロード(桜川土浦自転車道)は、全長約40kmのサイクリングロードで、休日には多くのサイクリストで賑わいます。そのりんりんロードのほぼ中間地点、つくば市北条にサイクリストのためのピットを開設したのが、有野真由美さんです。有野さんはつくば市在住のフリー編集記者であり、自らもサイクリスト。「スキー仲間に勧められて、自転車を始めました。りんりんロードを走ってみて感じたのは、良いところだけど、休憩施設やトイレ・コンビニが少なく不便だなということ。何か自分のできるのではないかと考えた」ということで、ピットの開設に向けて、プロジェクトを立ち上げます。

サイクリストをサポートする多機能ステーション「Pit Stop つくば北条」を設置し、サイクリストに情報発信を行うというこの「りんりんプロジェクト」は、(財)茨城県中小企業振興公社の第3回いばらきビジネスプランコンテストで奨励賞を受賞し、本格的に始動しました。平成23年4月にオープンしたピットは、飲食・情報の提供や交流の場となっています。空入れや自転車用具の貸し出しなども大変好評です。食事はサイクリスト向けに、つくばの野菜や米、卵を使い、地産地消をモットーに自ら調理。「パフォーマンスが上がり疲労回復を促す、機能性のあるスローフードの提供をめざしてい



◀筑波山やりんりんロードを愛する人びとが集まっています。

それぞれの男女共同参画
チャレンジストーリー

「チャレンジストーリー」では、個人・団体・企業の皆さんのチャレンジをご紹介します。起業、地域活動、働きやすい環境づくりなどさまざまな分野で広がる男女共同参画社会。それぞれの活動を参考に、皆さんも新しいチャレンジを始めてみてください。

団体

個人

企業



県主催の男女共同参画チャレンジセミナーの受講生です。「県のセミナーは、先輩女性起業家の話がとても参考になった」とのこと。

有野 真由美さん

ます」とのこと。ピットの存在が利用者のブログや口コミで広がり、県内はもちろん、千葉や東京からの利用者も増えました。「サイクリストの連帯感で上質なコミュニティができてうれしい」と話す有野さんです。今後の目標は、安全・快適に自転車を楽しむセミナー「輪遊塾」を充実させていくこと。「50歳を前に生き方を考え、人と触れあったり、笑顔と出会える手ごたえのあることをしたいという思いで始めた」というプロジェクト。サイクリストに支えられながら、有野さんのチャレンジは続きます。

団体の取り組み

常に笑い常に楽しく食事会

稲穂の会

稲穂の会は、取手市が市内各地区に設けている「いきいきふれあいサロン」のひとつで、山王地区の男性が中心となり、平成19年5月に結成されました。会員は38名、高齢者の方に昼食を提供したり、様々なイベントを実施しています。会の特色は、女性2名以外は全員が男性。会長の長塚さんは農業を営み、会員の皆さんは、銀行、警察、農協、教職員、外資系企業を退職された方など多彩で、民生委員や民生委員のOBが中

心となっています。「毎月第4月曜日に開催されるふれあいサロンでは、昼食を皆さんで11時から14時くらいまで高齢者に集まっていたいただき、毎回行事を工夫して楽しんでもらっています」と長塚さん。昼食会の料理は手づくりで、会員の皆さんが会場となる山王公民館の前の畑でつくった野菜を使用。お米も地元産を使い、地産地消に取り組んでいます。料理を指導するのは二人の女性陣で、参加した男性会

員が全員で役割を分担して調理します。「料理はやったことがなかったという会員がほとんどでしたが、4年半経った現在は腕前も上がり、参加者にも好評です。料理ができるようになって、家族にも喜ばれています(笑)」とのこと。利用者は70代後半から80代の女性が多く、毎回30名ほどの参加があります。会長さんをはじめ会員の皆さんの

稲穂の会の活動の Motto は、無理をしないことと、自分達が楽しむこと。「妻や夫の協力があってこそ活動ができるので、会員それぞれが家庭のことを優先し、苦痛にならない範囲で活動しています。また、自分達が楽

心となっています。「毎月第4月曜日に開催されるふれあいサロンでは、昼食を皆さんで11時から14時くらいまで高齢者に集まっていたいただき、毎回行事を工夫して楽しんでもらっています」と長塚さん。昼食会の料理は手づくりで、会員の皆さんが会場となる山王公民館の前の畑でつくった野菜を使用。お米も地元産を使い、地産地消に取り組んでいます。料理を指導するのは二人の女性陣で、参加した男性会



▲稲穂の会会長 長塚勇さん



「井戸端会議を男もしよう」と稲穂の会を始めたという会員の皆さん。



▲利用者の皆さんと牛久大仏に出かけました。

しくやっていければ利用者も喜んでくれるので、楽しみながら取り組んでいます」と長塚さん。今後も「のんびりと無理なく続けていきたい。おもしろいからサロンに行きたいという人がいることが私たちの力です」ということでした。はつらつと元気で、楽しい会話が飛び交う皆さんは、目標である「利用者・ボランティア共々、常に笑い常に楽しく」を地域の高齢者のために実践しています。



▲食事会の参加費は500円、毎回メニューを変えて朝から準備に取りかかります。(写真は取手市より提供)

「くるみん」認定の 子育てサポート企業

株式会社常陽銀行



女性が活躍する職場。女性が働きやすい環境が整っています。

(株)常陽銀行(本店・水戸市)は、女性従業員の占める割合が約半数ということもあり、女性が積極的に活躍できる環境づくりに取り組んでいます。特に平成17年4月には育児介護休業法の改正を受けて、育児・介護関連制度の見直しを行い、法律を回るより利用しやすい制度に改定しました。その成果が徐々に表れ、現在では出産休暇を取得した女性の育児休業取得率は100%、全行で年間40名ほどが育児を取り、

その後に職場復帰しています。男性についても、これまでに12名が1週間ほどの育児休業を取っています。男性従業員で実際に育児を取られた方は、「2人目の子どもが生まれた際に、1週間の育児を取りました。育休に理解のある職場で、先輩方からは、自分達の時代には無かったので、せっかくだから休暇を取って時間を大切に使うて欲しいと言われました。1週間、24時間、家族とじっくり過ごせたので、絆が深まったのを実感しました。育休制度を活用する人がどんどん増えていって、さらに育児を取得した人が周囲の育児をする人に積極的に育児取得を勧め、仕事上のサポートをしていくような流れができればいいかと思っ



▲育休を取られた男性行員。
「周りのサポートもあり、遠慮なく育休が取れました」

ています。」と話されました。常陽銀行では、平成22年に次世代認定マーク「くるみん」を取得しています。この認定は、仕事と子育ての両立を支援する取り組みを策定・実行し、一定の基準を満たした企業に与えられます。「学生さんの採用面接の際に、くるみんマークを取得していることをホームページで見たとという反響が出てきています。出産・育児後も働き続けたいという学生さんに、アピールできたことも良かったと思います」とのことです。

また、女性のワーク・ライフ・バランスを考慮し、働きやすい職場を実践する常陽銀行には女性の役付者も多く、平成23年11月時点で全体の約10%、212名、副支店長以上の行員も10名ほどいます。さらに再雇用制度もあり、パートとして銀行に復帰したり、パートから再び正社員に戻る道も開かれています。

現在は、次世代育成支援対策推進法に基づく第2期行動計画が進行中で、対象者をお子さんが「3歳まで」から「小学校入学前まで」に拡大した短時間勤務制度の導入

を具体的に進めているそうです。また、育休制度も2歳までに延長することを検討しています。働きやすい環境、働き続けることができるための環境が整っている常陽銀行では、今後も引き続き、社会情勢や従業員のニーズに対応しながら、支援制度を充実させていくというこ



推進員活動通信

いま、自分にできること

「より自分らしく生きられる」

まちづくりのために、現実に向けられた身近な活動をご紹介します。

※茨城県では、男女共同参画についての普及啓発ボランティアとして、「茨城県男女共同参画推進員」を募集しています。



市民協働の「ハーモニー」をめざして

茨城県男女共同参画推進員 ●霜田 礼子さん(坂東市)

私の「男女共同参画」への関わりは、市のハーモニー大学の受講生として参加したことが始まりでした。そこで、「坂東市女性フォーラム」という男女共同参画社会づくりを推進する団体があることを知り、入会して8年になります。その間、市と県の推進員となるほか、内閣府主催の全国会議、県主催の海外派遣事業、各種研修会など、時間の許す限り積極的に学び、日頃の活動に活かすよう努めています。

現在、市の担当課と連携し、「男女共同参画」と「市民協働」の両方に関わっています。

具体的には、「男女共同参画」では、「育メン」の写真を募集し、展示・市民投票・表彰式を行ったり、「マナーアツプセミナー」と男女共同参画のミニ講演などを企画したり、市民が楽しみながら男女共同参画について学べることに力を入れています。その際、役員会は、市の担当職員と女性フォーラム役員が一堂に会して話し合い、共通理解のもとに進められています。

また、「市民協働」では、市職員と市民代表メンバーが市民協働について学び、協働の指針・パンフレット作りやシンポジウムを行い、市民に発信しました。写真は、水戸黄門役の私が坂東市に立ち寄り、シンポジウムの終わりに感想を述べるといふ寸劇を行っている様子です。



今後は、全市民が市政に参加し、幸せを感じられるまちづくりに貢献したいと考えています。

小さなつながりを、大きな広がりへ

茨城県男女共同参画推進員 ●山本 伸子さん(牛久市)

私は現在、3つの柱で、男女共同参画に関する活動を行っています。

まず1つは、市民団体の「うしく明日をひらく女性の会」の活動です。様々な交流・学習の他に、平成18年には牛久市内の小学5年生と中学2年生全員を対象に「牛久市内小中学生の人権と男女平等意識調査」を行い、報告書としてまとめました。5年後にあたる昨年は2回目の調査を実施、集計作業を終え、分析作業を行っているところです。平成20年には、県より「ハーモニー功労賞(団体の部)」をいただき、活動の励みとなっています。

2つ目は、牛久市内の6つの女性団体が所属する男女共同参画ネットワークです。市男女共同参画推進室との連携で、学習会、視察研修、「うしく男・女フォーラム」等を行っています。特にフォーラムでは、市内外から1000人を超える方々にご参加いただき、毎年牛久市で活躍するパネリストの方々のパ

ネルデイスカッションが好評を得ています。最後は牛久市男女共同参画審議会委員としての活動です。牛久に住んでよかったです。牛久にそんなまちづくりを目指し、行政と市民との架け橋になるような提案をこれからも心がけていきたいと思っています。

男女共同参画は、粘り強く、貯金の様にコツコツと積み上げながら活動していくことが、つなげていくことになるのだと信じ、これからも取り組んでいきたいと思っています。



▲「うしく男・女フォーラム2011」にて(前列左から2番目が山本さん)

リーダー及び14名の研修員が ノルウェー、デンマークを訪問



ノルウェー労働者同盟(LO)にて



デンマーク「女性の情報センター(クヴィンフォ)」での研修の様子

この事業は、国内、海外における調査・研修を通して、政策・方針決定過程に参画できる女性の人材育成を目指すとともに、事業の企画・運営に携わる女性団体の基盤の強化を図ることを目的として実施しており、本年度は新しい公共支援事業の一環として、茨城県女性団体連盟が主体となって実施されました。海外研修として、昨年9月25日(日)から10月2日(日)までの8日間、田山知賀子リーダー及び14名の研修員がノルウェーとデンマークを訪問し、福祉・教育・まちづくりについて調査・研究を行ってきました。研修の成果は、1月25日(水)に開催された「茨城県女性団体連盟のつどい」で発表されました。

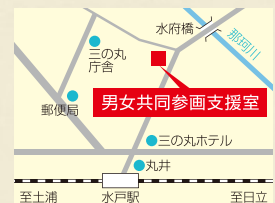
情報広場



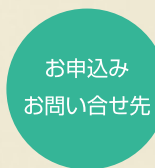
平成23年度男女共同参画チャレンジ支援セミナー 「レッツ・アサーション! ~さわやかに自分の思いを伝える~」

自分の考えや要望を、相手にわかりやすく思ったように伝えるにはどうしたらいいか悩んでませんか?
アサーションは、これらの悩みを解決してくれるコミュニケーションスキルです。

- 日時/平成24年3月1日(木) 13:00~15:00
- 講師/塚本美和子さん(財)茨城カウンセリングセンター所属シニア産業カウンセラー)
- 参加費/無料
- 募集人数/30名(先着順)



水戸駅から日立方面に向かって徒歩約10分。車でお越しの方は三の丸庁舎(旧県庁舎)の駐車場をご利用ください。無料利用券をお渡しいたします。



女性プラザ男女共同参画支援室

〒310-0011 水戸市三の丸1-7-41 いばらき就職支援センター3階
サンキューハーモニー

TEL:029-233-3982 FAX:029-233-1330 E-mail:josei1@pref.ibaraki.lg.jp

女性プラザ男女共同参画支援室のご案内

チャレンジ相談

再就職や起業、キャリアアップ、地域活動などのさまざまなことにチャレンジして新しい可能性を切り開いていこうとしている方に対する相談助言や情報提供等を行っています。

- 相談日時:月曜日~金曜日 9:00~17:00
- 相談方法:面接(要予約)、電話、FAX、Eメール

法律相談(弁護士)

- 相談日時:第2金曜日 13:00~16:00
- 相談方法:面接(要予約)

仕事と心の相談(産業カウンセラー)

- 相談日時:第1金曜日 9:00~17:00
- 相談方法:面接(要予約)

総合相談

家族、夫婦、学校、職場、地域等での悩み事などや男女共同参画に関する苦情や意見など、お気軽にご相談ください。

電話相談 029(233)7837